

【令和4年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立亥の子谷デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市山田西1-26-20	設置年月日	平成11年5月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 延べ床面積 482㎡ 定員数 27人	【開館日等】 開館日 月～土曜日午前8時～午後6時 休館日 日曜日、年末年始	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 こばと会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者 が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他の サービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者 の収支			令和3年度		令和4年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	介護報酬等 (円)	60,209,000	60,624,433	61,802,000	64,507,896
		その他 (円)	4,931,000	4,744,638	5,172,000	5,885,669
		合計 (円)	65,140,000	65,369,071	66,974,000	70,393,565
	支出	管理経費 (円)	64,169,000	60,202,815	64,265,000	61,845,281
		その他 (円)	0	1,077,839	0	5,357,410
		合計 (円)	64,169,000	61,280,654	64,265,000	67,202,691
収支差額 (円)		971,000	4,088,417	2,709,000	3,190,874	

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	7,318	7,173	7,318	7,535
2	稼働率 (%)	88.0	88	88.0	90.6

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	投書箱の設置、利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話等で把握している。また、利用者アンケート内に「新型コロナウイルスについて、心配なこと・困っていること」「生活の中での困りごとや悩み」を記入する欄を設け、家族からのニーズを把握できるよう工夫していた。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 一方で、利用者アンケートでは、入浴時の対応や活動内容の頻度に関するマイナスの声があった。
(3)結果を受けての対応状況	利用者の要望等に対し、できる限り迅速に対応している。日々の会話や利用者アンケートで把握した声は、すぐに解決策を見出し、職員間での指導や利用者対応の変更等、迅速に対応している。また、家族からのニーズについても、内容に応じて提案等を行い対応している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	可能な限り広く利用者を受け入れている。利用者には、秘密保持について利用開始時に重要事項確認書で確認し、関係機関との情報共有についても同意を得る等、風通しの良い利用環境を整えている。
(2)施設の効用の発揮	レクリエーションは幅広く、季節を感じるものを積極的に企画している。 タオル干しやコップ洗い等の日常生活におけるお手伝いの活動の種類を増やし、利用者の達成感や自信、互いに研鑽する作用に繋げている。また、今月のおすすめ活動と題して、活動の効果を掲示。活動と効果との関連性を周知することで、利用者のやる気を促進している。 利用回数を増やしたいと希望する利用者の対応や新規利用者の受入の手配を迅速に行い、利用者数・稼働率ともに目標値を達成している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっているが、介護職員について、事業計画時の目標人数に至っていないため人員確保に努められたい。多彩な内容の研修を実施し、職員の能力向上を図っている。 財政面に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し休業がない等、おおむね計画どおりの運営を行った結果、収支を黒字に保っており、施設を安定的に運営できている。
(4)施設の管理経費の縮減	両面印刷、裏紙の使用、照明の間引き、消灯の徹底、自然乾燥による乾燥機の使用頻度の縮減、備品購入先の見直しを実施している。
(5)その他	マニュアルが多岐にわたり整備されており、職員間での共有・指導が行き届いている。また、地域のイベントにスタッフや講師として参加する等、地域連携・地域貢献に積極的に取り組んでいる。 毎月発行される亥の子谷デイだより、施設ホームページは見やすいだけでなく、施設での活動内容、雰囲気がよく分かる。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。食材費や日用品等の物価上昇、燃料費や光熱水費の高騰による支出の増額があったものの、利用者数の増加に取り組み、高質なサービスを提供しつつ、安定した管理運営を実施できた。また、地域連携・地域貢献の取り組みについても、指定管理申請書に記載の事業以外にも、積極的に取り組み、当初提案していた事業をすべて実施することができた。 今後の指定管理期間で、募集要項に記載している加算の取得を行うとともに、対象者がいた場合には積極的に社会福祉法人軽減事業を実施されたい。